

インフラ整備70年 講演会(第62回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

しまなみ海道の建設と、今、そしてこれから ―「海の難所」と瀬戸内海国立公園に架けた長大橋梁群―

<II部:パネルディスカッション/しまなみ海道の今とこれから>

コーディネーター

天野光歩(前戦後インフラ整備事業研究会委員

(株)建設技術研究所 取締役常務執行役員 技術本部長)

パネラー

溝上善昭(本州四国連絡高速道路(株)

長大橋技術部技術推進課長)

坂本大蔵(一般社団法人しまなみジャパン 専務理事)

三好 楓(一般社団法人 四国ツーリズム創造機構)

大江慎一(本四高速道路ブリッジエンジニア(株))

<I部:講演/しまなみ海道の建設>

1.しまなみ海道の事業経緯と橋梁計画

辰巳正明(元本州四国連絡橋公団 第三建設局 建設部長)

2.海の難所に架ける一来島海峡大橋―

平山純一(元本州四国連絡橋公団 第三建設局 今治工事事務所長)

3.1km級斜張橋への道を切り開く―多々羅大橋―

奥川淳志(元本州四国連絡橋公団 第三建設局 向島工事事務所長)



写真提供:本州四国連絡高速道路(株)

上:本四連絡橋最初の吊橋―因島大橋―とサイクリスト

下左:完成時世界一の斜張橋―多々羅大橋―

下右:来島海峡大橋補剛箱桁の直下吊り

2025年 9月2日 (火)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:00

場 所:政策研究大学院大学想海樓ホール(会場・WEBのハイブリット形式)

定員:会場 200名 WEB 1000名

主催:(一社)建設コンサルタンツ協会 後援:(公社)土木学会

本州四国連絡橋の一番西側に位置し、芸予の島々を10橋で結ぶ「しまなみ海道」は、1975年に大三島橋が着工、四半世紀後の1999年に全橋が完成した。架橋地点は、多島海が広がる「海の難所」にあるとともに、瀬戸内海国立公園地域でもあり、計画にあたっては航行船舶への影響や自然環境に配慮する必要がある、様々な課題を克服して完成した。また、自転車歩行者道も併設され、生活道路としての役割に加え、世界中のサイクリストから注目を集める存在になっている。

本講演会では、しまなみ海道の事業経緯と橋梁計画について述べ、吊橋の補剛箱桁を海の難所に架ける挑戦や1km級斜張橋実現への道を開いた取り組みを紹介するとともに、「しまなみ海道の今とこれから」について、パネルディスカッションを行う。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

インフラ整備70年講演会(第62回)

しまなみ海道の建設と、今、そしてこれから ―「海の難所」と瀬戸内海国立公園に架けた長大橋梁群―

《講演》

辰巳正明（元本州四国連絡橋公団 第三建設局 建設部長）
平山純一（元本州四国連絡橋公団 第三建設局 今治工事事務所長）
奥川淳志（元本州四国連絡橋公団 第三建設局 向島工事事務所長）

《パネルディスカッション》

天野光歩（前戦後インフラ整備事業研究会委員
（株）建設技術研究所 取締役常務執行役員 技術本部長）
溝上善昭（本州四国連絡高速道路(株)長大橋技術部技術推進課長）
坂本大蔵（一般社団法人しまなみジャパン 専務理事）
三好 楓（一般社団法人 四国ツーリズム創造機構）
大江慎一（本四高速道路ブリッジエンジニア（株））

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場（講演会2000円・意見交換会2000円）、WEB（講演会無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>）よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

<会場参加について>

- 申込完了者は、**8/26(火)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます（振込が期日より遅れますと後日郵送となります）。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパ ンジャダ ンホウジ ンケンセソナルタンツキョウカイコウシュウカイヨウグ チ カイチョウ ナムテツミ

（複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の間合わせ先メールにご連絡をお願いします）

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先 E-mail: infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであると一言で過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第62回講演会 2025年10月15日(水) 建設コンサルタンツ協会会議室（ライブ配信のみ）

テーマ：戦後 負の遺産を国民の幸せの空間に～国営昭和記念公園など国が整備する公園～

講演者：舟引敏明（宮城大学名誉教授／公園財団理事長）

大橋謙一（元昭和記念公園事務所長）

田中希依（2027国際園芸博覧会協会企画調整部調整課長／元昭和記念公園事務所調査設計課長）

涌井雅之（東京都市大学特別教授）

司会：榎野良明（都市緑化機構専務理事／元国土交通省都市局審議官／元昭和記念公園事務所長）